

越谷市(政)の現状について

プロフィール

■ 地勢

- 都心から25キロ、面積60.31平方キロ
- 平坦で海拔3~5メートル、臨海型の気象

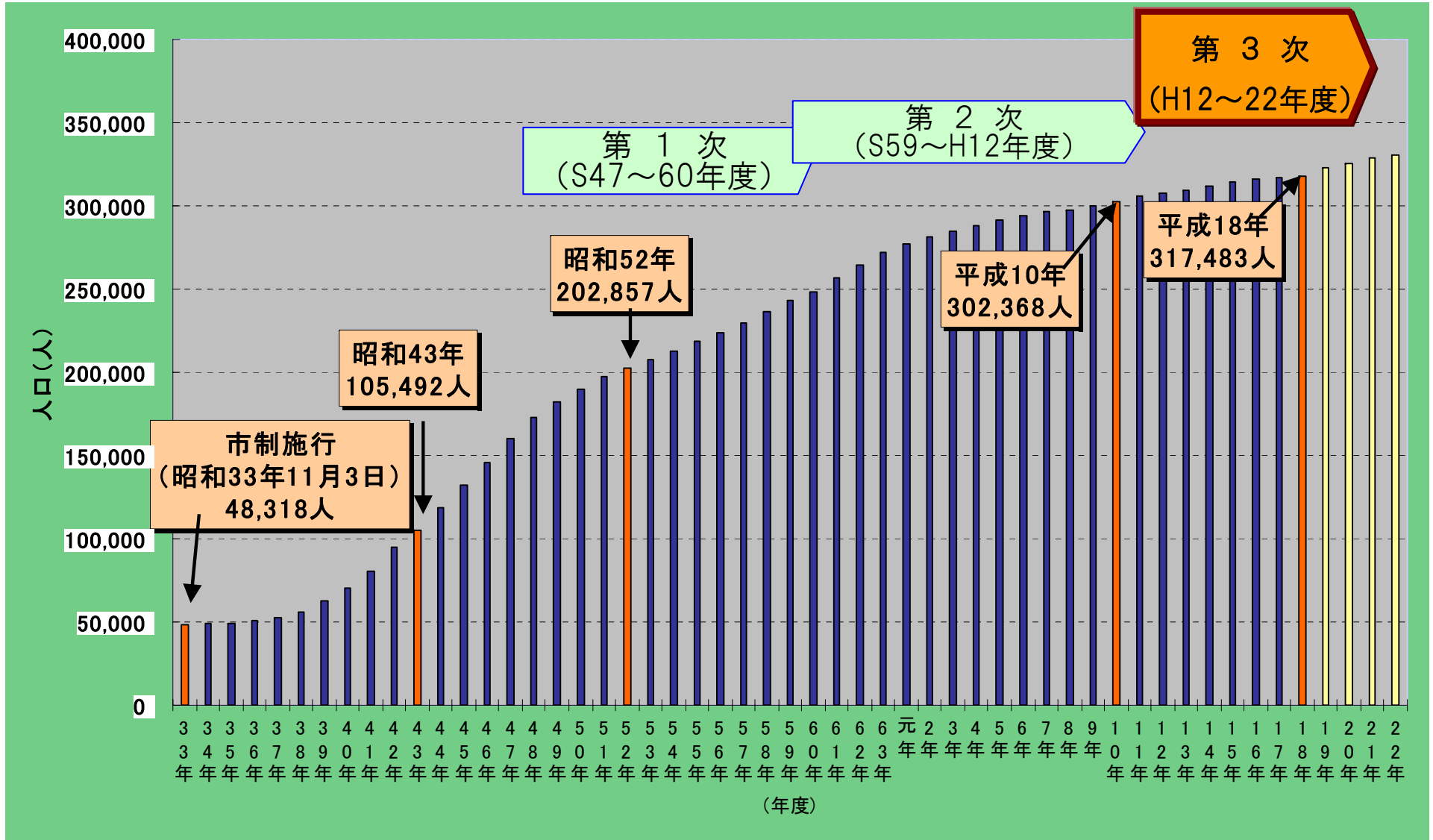
■ 歴史

- 紀元前2000年頃は海、関東ローム層の低湿地
- 越谷の地名(地形に由来)、水郷こしがや
- 西暦710年頃 見田方に集落(遺跡)
- 江戸時代、日光廟参詣の宿場町、豊かな穀倉地帯

■ 沿革

- 明治32年 東武鉄道開通 蒲生・大沢に駅
- 昭和29年 2町8カ村が合併し越谷町誕生
- 昭和33年 市制施行(11月) 全国で543番目 県下22番目
- 当時の人口 48,318人

越谷市の人口推移と総合振興計画



総合振興計画と市民要望

3

◎第1次総合振興計画（昭和47年度～昭和60年度）

将来都市像 《水と緑と太陽に恵まれた近代的住宅都市》

- 【市民要望の上位】
- ①市立病院の建設
 - ②下水道の整備
 - ③道路の整備
 - ④公園緑地の整備
 - ⑤農業用水路と排水路の分離

◎第2次総合振興計画（昭和59年度～平成12年度）

将来都市像 《水と緑と太陽に恵まれた

ふれあいと活力ある文化都市》

- 【市民要望の上位】
- ①下水道の整備
 - ②医療体制の充実
 - ③鉄道高架の推進
 - ④防犯対策
 - ⑤道路の整備

◎第3次総合振興計画（平成12年度～平成22年度）

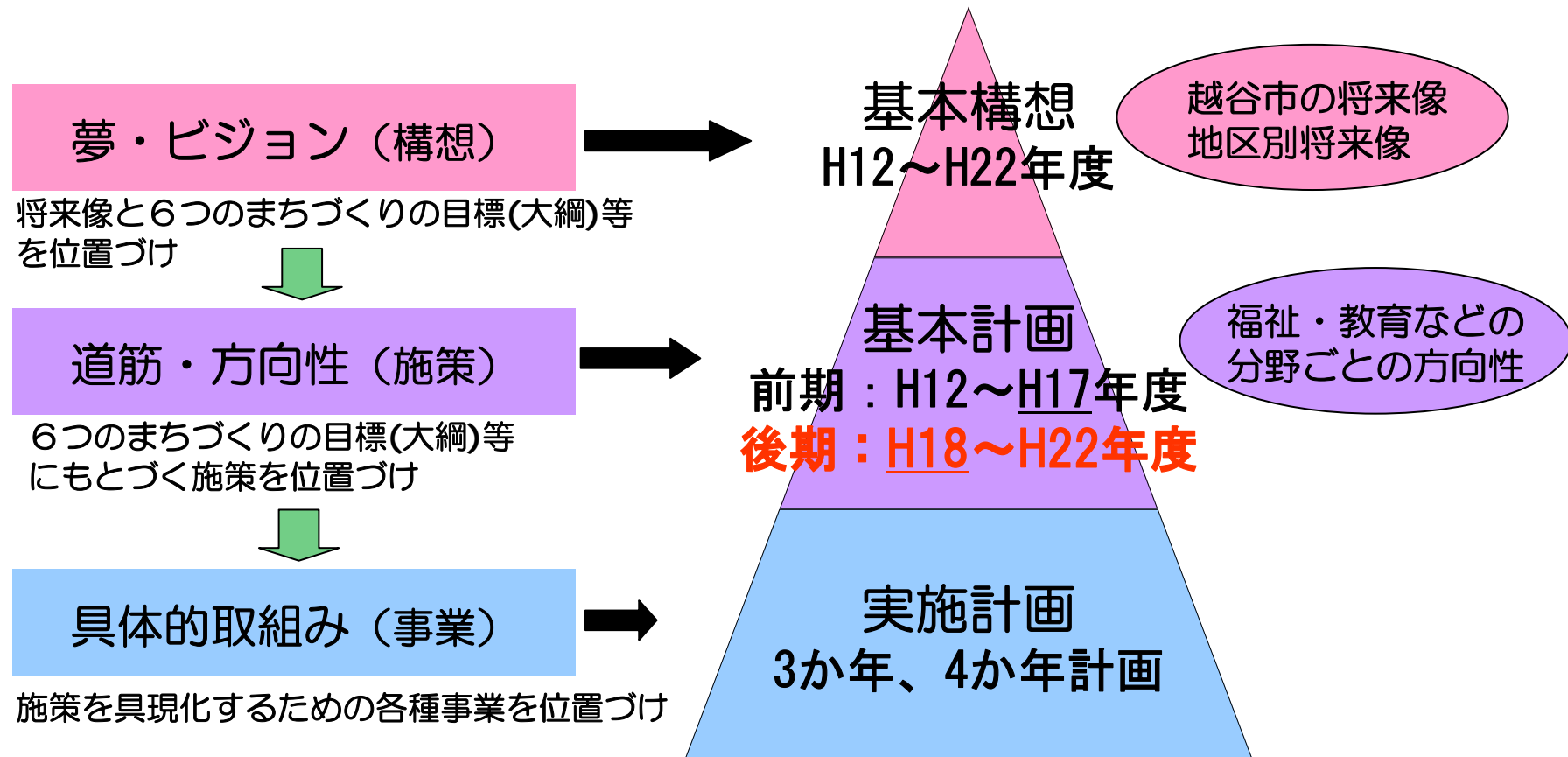
将来都市像 《水と緑と太陽に恵まれた

ふれあい豊かな自立都市》

- 【市民要望の上位】
- ①高齢者福祉対策
 - ②自然保護等の環境保全対策
 - ③地域医療や救急医療対策
 - ④駅周辺の市街地整備
 - ⑤水害や地震対策等の災害対策

第3次越谷市総合振興計画

- 福祉や防災、教育など越谷市のまちづくりを進める上での
全ての基本となるもの



4つの視点と10の推進方策

環境共生

1. 水郷こしがやの復活と創造
2. 自然環境や生態系に配慮した循環型社会の形成

バリアフリー

3. 総合的なバリアフリー社会の実現
4. 男女共同参画社会の実現

自立・連携

5. 県南東部地域の中核を担う都市づくり
6. 災害に強い都市づくり
7. 地方分権型社会をつくるための開かれた行財政運営

地域性重視

8. 地域福祉と健康づくり
9. 伸びやかに子どもが育つ家庭や地域の環境づくり
10. パートナーシップ（協働）の地域づくり

越谷らしさ

基本計画の体系

将来像：水と緑と太陽に恵まれたふれあい豊かな自立都市

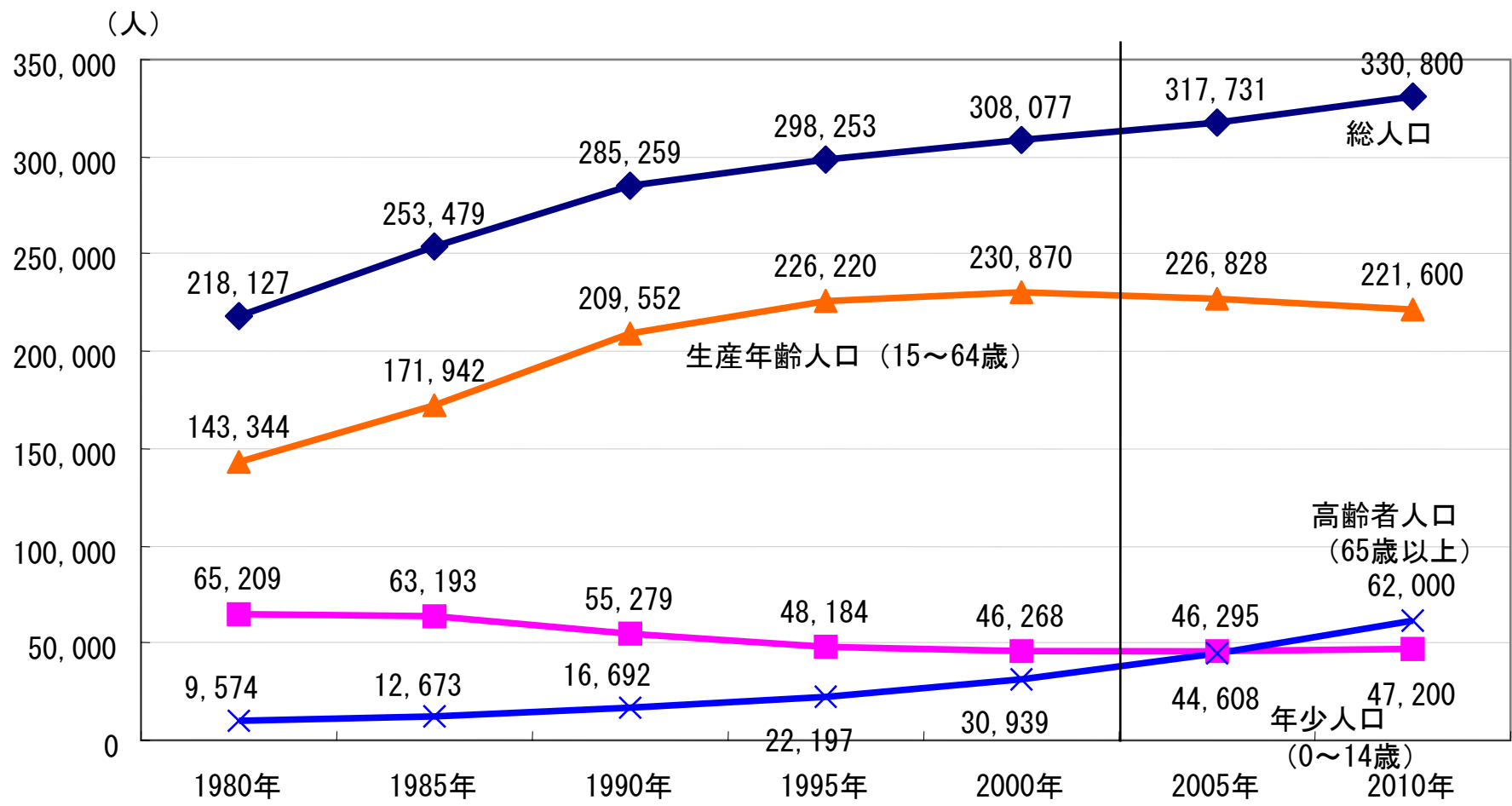
6つの大綱と実現の方策



人口

これまでの推移と今後の見通し

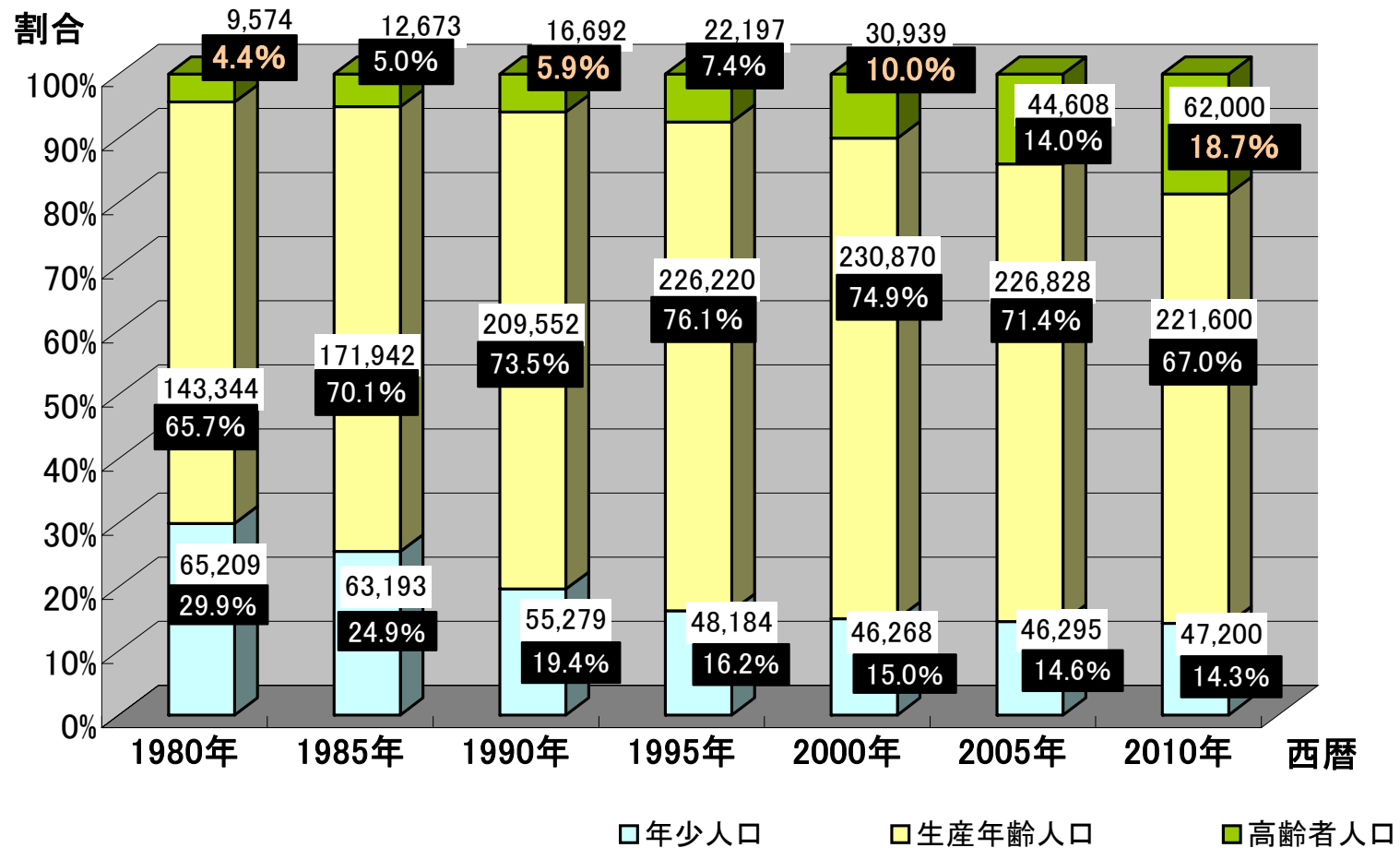
2010年（平成22年）には33万人を超える見通し。



人口構成

これまでの推移と
今後の見通し

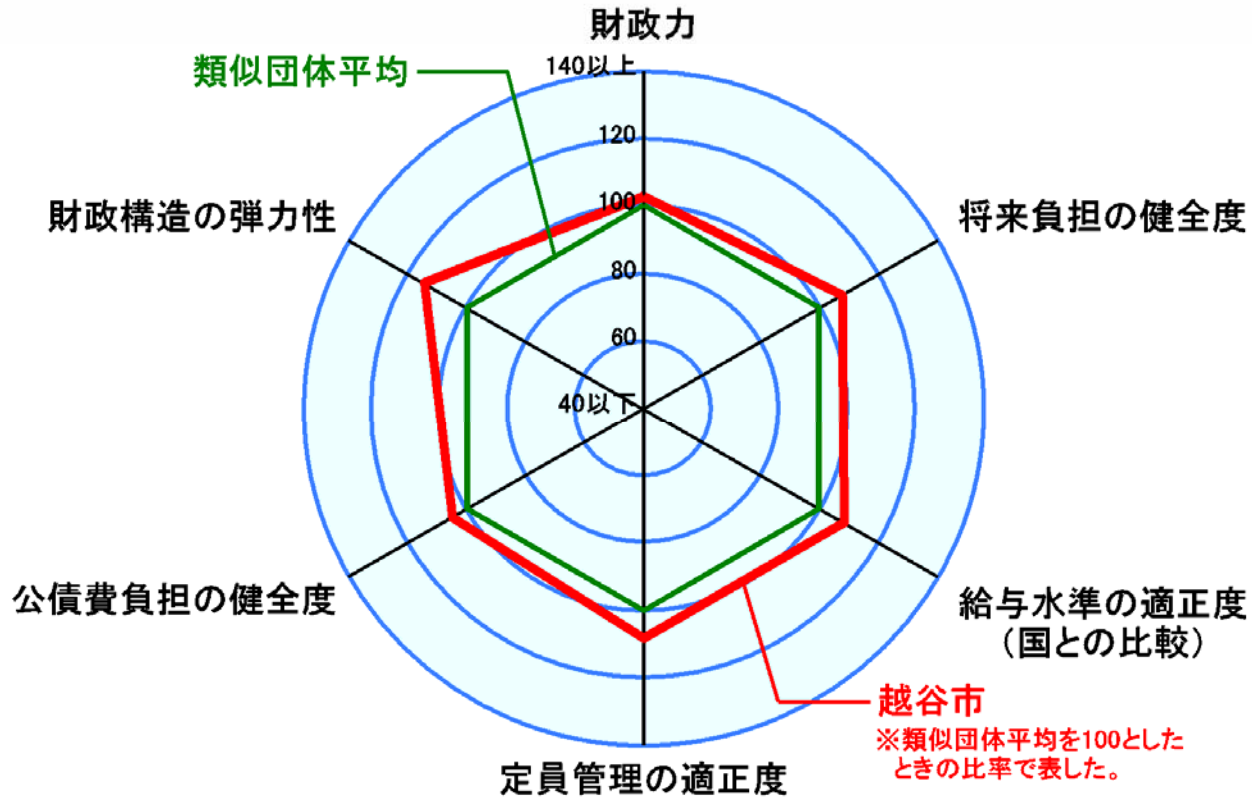
少子化・高齢化が急激に進む。



市町村財政比較分析表（平成16年度）

埼玉県 越谷市

人口	313,025 人(H17.3.31現在)
面積	60.31 km ²
歳入総額	75,502,985 千円
歳出総額	72,596,751 千円
実質収支	2,448,881 千円

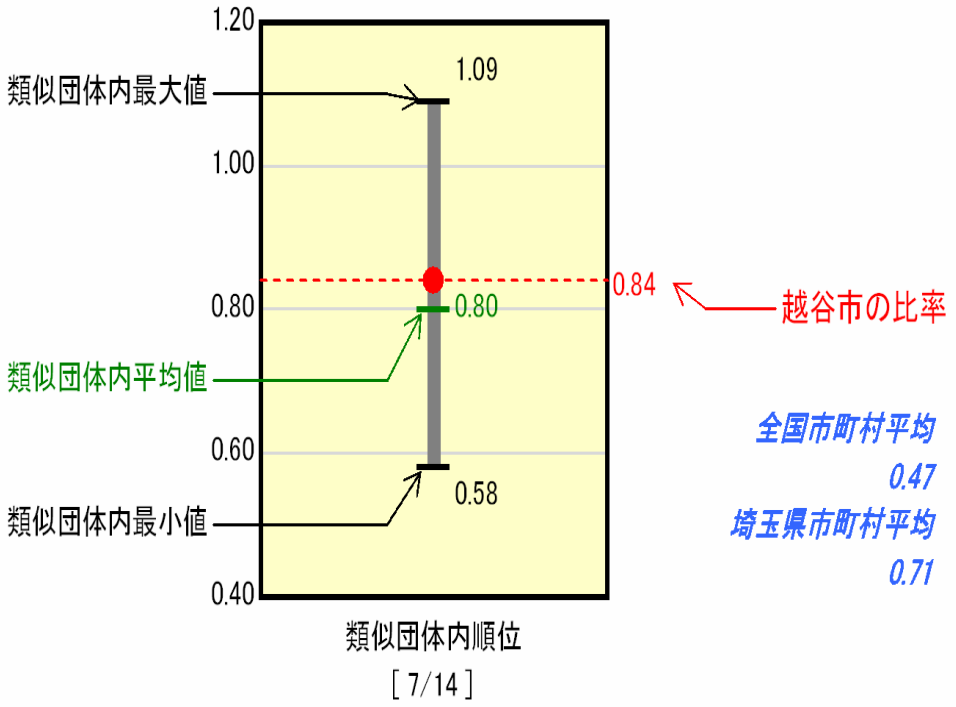


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

市町村財政比較分析表（平成16年度）

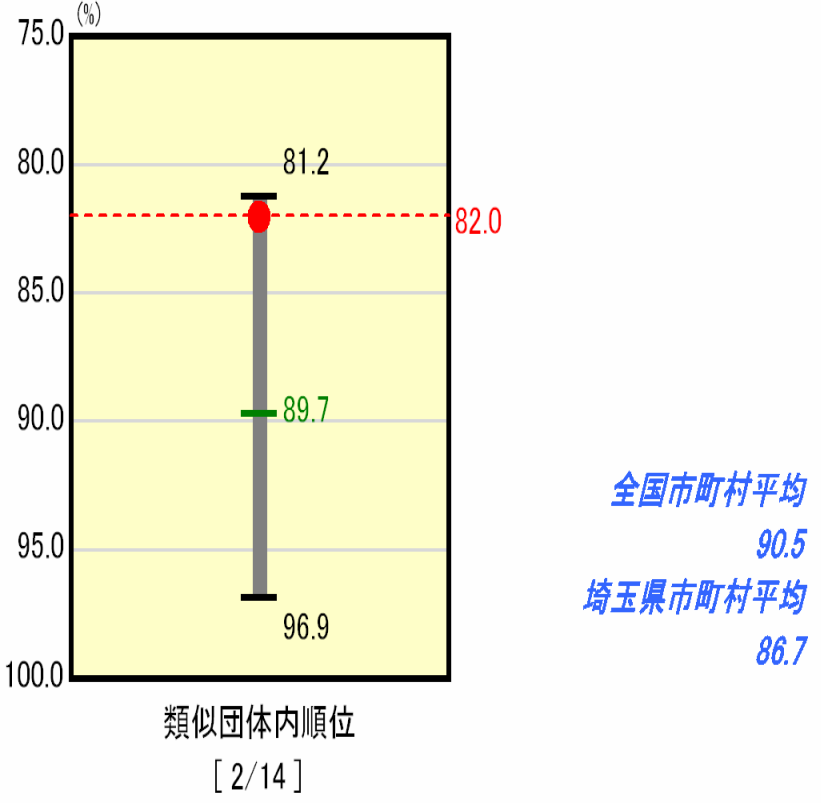
財政力

財政力指数 **[0.84]**



財政構造の弾力性

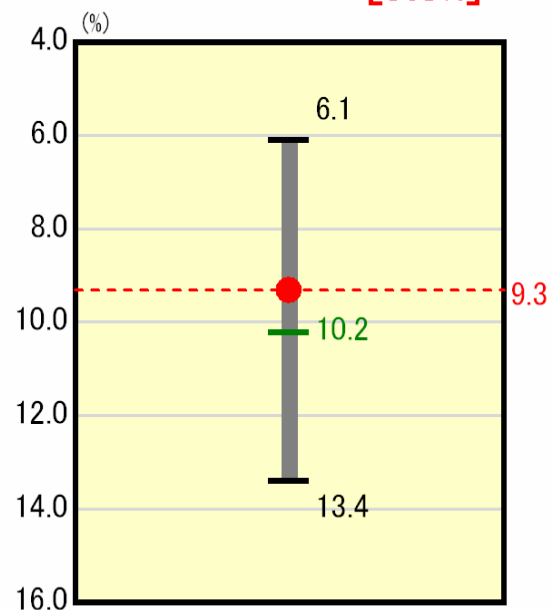
経常収支比率 **[82.0%]**



市町村財政比較分析表（平成16年度）

公債費負担の健全度

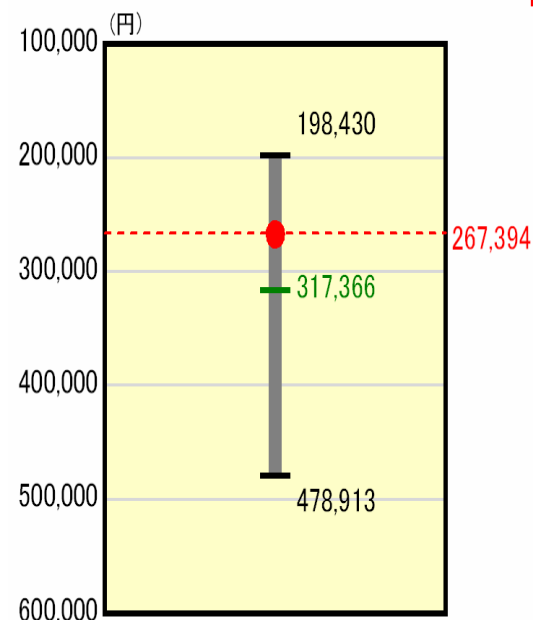
起債制限比率 **[9.3%]**



全国市町村平均
11.2
埼玉県市町村平均
8.6

将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[267,394円]**

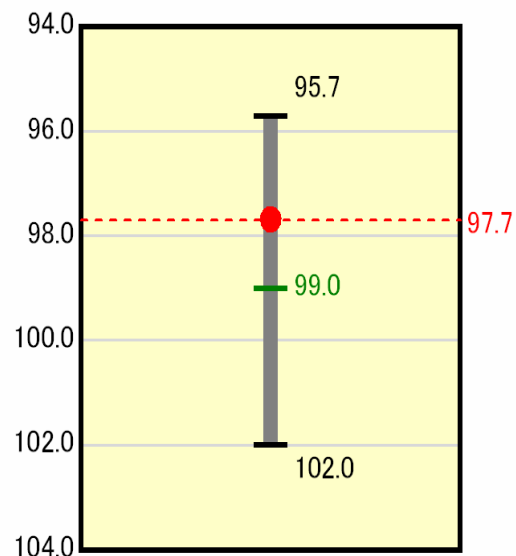


全国市町村平均
466,109
埼玉県市町村平均
262,783

市町村財政比較分析表（平成16年度）

給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[97.7]**

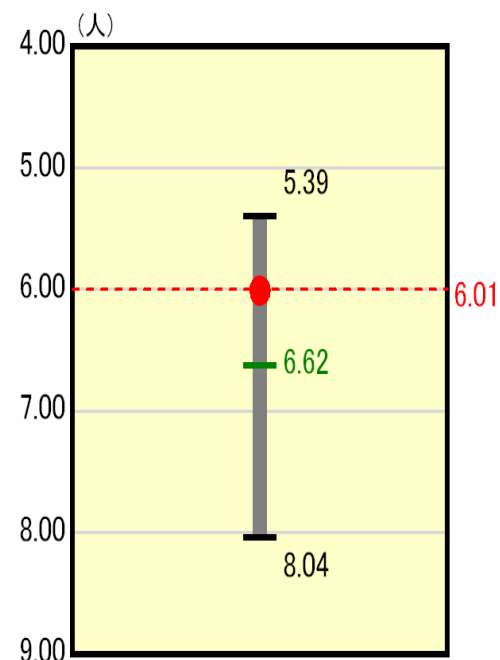


類似団体内順位
[3/14]

全国市平均
97.6
全国町村平均
93.7

定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[6.01人]**



類似団体内順位
[2/14]

全国市町村平均
8.12
埼玉縣市町村平均
6.69

まちづくりの方向性

- 「市民参加」と「協働」
- 「協働」(*collaboration* = 共同作業)
 - 阪神淡路大震災を契機に「協働」が注目
 - 自主性尊重、対等な立場、相互補完、協力
 - 一方で、公共施策の負担転化という疑念

政策形成への参画が重要

(例: 計画策定や条例づくりへの参画)

住みよさ＝「越谷」らしさ

■ 都市の個性

- 土地の形状、シンボル、特産品、観光資源(歴史・景観)

■ 住みよさ(地域への愛着形成)

- 安全・安心(防災・防犯)
- 子育てしやすい、医療・介護の充実、生活の利便
- 住環境(自然、都市基盤整備)
- 地域コミュニティ

■ 「越谷」らしさ→市民協働によるまちづくり

- 自治基本条例制定(平成21年3月を目標)
- 第4次総合振興計画(平成23年度からスタート)